

◆点検シート(新基準)

評価基準	1 理念・目的	点検単位	文学部 英文学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 大学の理念・目的を適切に設定しているか。また、それを踏まえ、学部・研究科の目的を適切に設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

英文学科の人材養成に関する目的は、大学の教育目標、及び文学部の「人材養成に関する目的」のもと、次のように設定している。「世界で広く用いられている英語と広義の英文学とについて、体系的かつ実証的な学びを提供します。英文学・英語学についての専門的知識・理解を深め、4年間の学びを通して、情緒豊かで高雅な、凜とした品位ある女性人材の養成を目指します。」

この内容は、大学及び学部の教育目標から導かれ展開する構成となっており、その関連性は保たれている。目指す姿がわかりやすく表現され、大学ホームページや「学習の手引」などに掲載されている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 大学の理念・目的及び学部・研究科等の目的を学則又はこれに準ずる規則等に適切に明示し、教職員及び学生に周知し、社会に対して公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

学科の教育目標は、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表1「教育目標」に明示され、「大学ウェブサイト」「学園要覧」等において広く社会に公表している。またオープンキャンパス等においても積極的にその伝達に努めている。本学構成員、特に学科に所属する学生に対しては、毎年度更新・編集されている「英文学科 学習の手引」や履修ガイダンス、在学生オリエンテーションを通じて、本学科の理念・目的、教育課程、育成する人材像についての説明を行っている。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 大学の理念・目的、各学部・研究科における目的等を実現していくため、大学として将来を見据えた計画その他諸施策を設定しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

個別の視点での入力不要

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)

【現状説明】に明らかなように、英文学科の弛まざる努力を評価いたします。今後はさらに問題点を掘り起こしてその改善に向けた対応を期待いたします。

改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	4 教育課程・学習成果	点検単位	文学部 英文学科
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 授与する学位ごとに、学位授与方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

英文学科の学位授与の方針は、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表2「学位授与の方針」に定められている。「学位授与の方針」には課程修了にあたって習得しておくべき能力を、[知識・理解][汎用的技能][思考・判断][対話・相互理解][社会性・自律性][自立性]の観点から具体的に明示している。また、「学位授与の方針」、大学ウェブサイトや「学習の手引き」において広く公表している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 授与する学位ごとに、教育課程の編成・実施方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。

「学位授与の方針」に掲げた能力を修得させるため、「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」別表3「教育課程編成・実施の方針」を定めている。「教育課程編成・実施の方針」では「学位授与の方針」との関連性を踏まえ、回生ごとの教育課程の編成内容を示している。

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。

【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。

特筆すべき事項無し

【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。

【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。

【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教育課程の編成・実施方針に基づき、各学位課程にふさわしい授業科目を開設し、教育課程を体系的に編成している。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
英文学科では、教育課程編成・実施の方針に基づき、実践的な英語能力を高め、また広く英米文化・文学および英語学についての知見を身につけることができるよう、各科目の連携・関連を図り、体系的な教育課程を編成し実施している。1年次では、英語圏の文化・文学・コミュニケーションについての基礎的科目を学ぶとともに、TOEFL演習などによって実践的な英語能力を向上させる科目を学ぶ。2年次では Oral Communication などのネイティブスピーカー担当の科目やTOEIC演習など社会での実践的な英語の活用を意識した科目とともに英米文化研究や英語学研究といった科目を通じて、より専門的な科目を履修する。3年次には通訳ガイド演習や旅行業務演習といった職業との具体的な関わりを想定した科目を学ぶとともに、社会言語学やジェンダー批評といった卒業研究を想定し高度な学問的内容を扱う科目を学ぶ。4年次においては、卒業研究によって、それまでの学びを総合的に活用・応用する科目を学ぶ。このように、4年間を通して体系的かつ総合的な編成となっている。 また英文学科の教育目標と開設授業科目の関係については、「学習の手引き」にカリキュラムマップや履修モデルを掲載し、説明している。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 学生の学習を活性化し、効果的に教育を行うための様々な措置を講じているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
シラバスに各科目の学習目標や授業計画、評価方法が明記されており、すべての授業は授業計画に沿って行われている。シラバスは大学ウェブページ上でつねに参照できるようになっており、授業の予習復習の便を図っている。またオフィスアワーを全教員が設定し、大学ウェブサイトに掲載するほか、各教員の研究室に掲示し、授業の質問を受け付けるなど、授業について行けなくなった学生たちをサポートできるようになっている。シラバスについては、公開前に学科所属の全教員が相互チェックを行い、適切な記述がなされるように確認している。 また全学的に履修科目の上限が設定されているほか、GPAの活用により、期末ごとに成績が一定基準に満たない学生に対する個別指導が実施されており、学習の手引によって周知されている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑤ 成績評価、単位認定及び学位授与を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
シラバスにおいて「評価項目」「評価配分」「評価の視点」などの評価基準を明らかにし、厳格な成績評価を行っている。提出された各学生の成績は、教務課・教務委員会によって点検・確認され、適切な単位認定が行われている。 また学生に通知された成績について疑義がある場合の問い合わせ期間を設け、成績評価が適切に行われるよう取り組んでいる。 また履修要項第42条の2に、「GPAが一定基準を下回った場合には、教員による面談を受けなければならない」と規定し、成績不良者への指導体制も整備している。 卒業判定は、本学学則第52条を踏まえて教授会で審議される。単位取得状況を資料に、卒業要件達成者ならびに追試・再試等により卒業要件を満たす可能性のある者を確認し、慎重かつ厳格な判定が行われている。さらに追試・再試等により卒業要件を満たす可能性のある者については、追試・再試等を実施した上で、再度教授会の審議に付し、厳格な認定が行われている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑥ 学位授与方針に明示した学生の学習成果を適切に把握及び評価しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
本学科の学位授与基準はディプロマポリシーとして明文化され、大学ウェブサイトや学習の手引きに明記され、公開されている。 卒業(学位授与)の判定は、学則に基づき教授会で厳格に審議されている。 学習成果の把握としては、特に卒業研究の成績判定について学科全員の審議によって一人一人認定しており、その際、成績分布の確認もしている。 学科の学習目標のひとつである実践的な英語力の測定については、2回生以上全員に毎年1回TOEIC-IP試験の受験を義務づけ、成績の年次推移および学年間の比較を行う取り組みを始めている。2017年度においては2回生・3回生全員が受験し、3回生については年次推移の調査によりスコア平均50以上のアップが認められ、実践的な英語力の向上が確かめられた。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑦ 教育課程及びその内容、方法の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。
教育課程およびその内容、方法の適切性については、授業評価アンケートや学生生活実態調査、卒業時満足度調査の結果から検証している。授業評価アンケートについては、各教員はアンケート結果に対する所見を公表している。 また毎年度、各教員の担当科目を決定する際に、受講者数や単位取得者数などからカリキュラムの妥当性ならびに授業内容・方法の妥当性を確認している。 2017年度には、2019年度から実施されるカリキュラム改訂の議論を行い、総合的な観点から見直しを行った。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)
問題点が的確に認識されて、改善に向けて適切な対応がなされていると評価できます。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	5 学生の受け入れ	点検単位	文学部 英文学科
点検・評価 年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 学生の受け入れ方針を定め、公表しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 「京都女子大学人材養成・教育研究上の目的に関する規程」の別表4「入学者受け入れの方針」において、求める学生像や修得しておくべき知識等を具体的に明示し、その内容は大学ウェブサイトや募集要項で広く社会に公表している。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 学生の受け入れ方針に基づき、学生募集及び入学者選抜の制度や体制を適切に整備し、入学者選抜を公正に実施しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科の学生募集および入学者選抜については、学部教授会にて審議・承認を得るという手続きをとっている。学生募集においては、募集人数に対してかろうじて競争的環境を保つ受験生数を確保している。入学者選抜、指定校推薦入試、公募制推薦入試、一般選抜、社会人特別選抜、AO入試、一般編入学試験、推薦編入学試験があり、いずれも学科の定めた入試科目や方法に従い、「入学者受け入れの方針」に基づいて、公正かつ適切に実施されている。AO入試は本学科では初の実施であったが、募集人数5名に対して7名の受験者を得て、小論文・面接によって多方面に評価し、本学科の求める入学者を選抜することができた。 入学定員超過率は、2017年入試において0.96、2018年入試において0.928と連続で定員を下回る結果となっている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。 【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 入学定員超過率は、2017年入試において0.96、2018年入試において0.928と連続で定員を下回る結果となっている。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。 【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。 カリキュラム改革を進め、学科の伝統的な学びをベースとしながらも、TOIEC関連科目の充実などにより、語学力の向上をアピールできる新たなカリキュラムを構想する。

③ 適切な定員を設定して学生の受け入れを行うとともに、在籍学生数を収容定員に基づき、適正に管理しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 ※個別の視点での記入は不要です。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 学生の受け入れの適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 学生募集・入学者選抜の適切性については、全学の入試委員会で定期的に検討されており、検討結果については適宜、学科会議で報告されるとともに、必要に応じて審議している。本学科の個別的観点に基づく学生募集および入学者選抜の在り方についての意見は、入試委員会に直接伝えられ、全学的なレベルでの調整に貢献している。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評) 問題点が的確に認識されて、改善に向けて適切な対応がなされていると評価できます。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見

◆点検シート(新基準)

評価基準	6 教員・教員組織	点検単位	文学部 英文学科
点検・評価年度	2018年度(対象:2017年度)		

① 大学の理念・目的に基づき、大学として求める教員像や各学部・研究科等の教員組織の編制に関する方針を明示しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科では、教育課程および研究対象領域を踏まえて教員組織の編成方針を定め、教育人事(採用・昇格)に当たっている。採用人事に際しては、学科会議において応募条件を慎重に検討して公募採用人事案を策定し、全学の人事委員会にて提案の上、審議・了承を得ている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

② 教員組織の編制に関する方針に基づき、教育研究活動を展開するため、適切に教員組織を編制しているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科の2017年度における教員数は11名、教授9名、准教授2名という構成である。専任教員一人あたりの学生数は48.5人となっている。英文学科必修専門科目に占める専任教員の担当科目の比率(専兼比率)は91.3%となっている。専任教員の専門分野については、英米文学から演劇、映画、英語学・英語教育学に至る多様な分野をカバーするために、英米文学7名(演劇や映画と文学の比較研究を含む)、英語学5名(英語教育を含む)による編制を原則としているものの、退職した教員がいた関係で2017年度のみ英語学が4名であったが、採用人事を行った結果2018年度以降については英語学5名が確保できている。共通科目を担当する教員数も増えており、また大学院を兼任する専任教員数も増加している。全体にバランスのとれた教員構成であり、教員間の分担も適切に調整されている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

③ 教員の募集、採用、昇任等を適切に行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 教員の募集・採用にあたっては公募を原則とし、「京都女子大学教員資格審査規定」および「内規」に示された基準に基づき教員人事の審査がなされている。2017年度には専任教員1名(講師)の採用を行った。昇進人事においても、同審査規定に基づき審査が行われている。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

④ 教員の資質の向上を図るための方策を組織的かつ多面的に実施し、教員及び教員組織の改善につなげているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科では全学で実施されるFD研修への参加を奨励しており、授業アンケートも全教員が実施している。学科内のFD活動として、日常的に教員間で情報交換を行うほか、複数教員が担当する科目(TOIEC演習など)では、科目責任者を決めて意見交換を行い、授業内容の統一や改善を図っている。また、出席数や受講態度その他対応に注意が必要と思われる学生への授業方法については学科会議の場で意見交換を行い、学科全体として教育に当たっている。教員の研究活動については、教員業績データベースへの入力を教授会等で促しており、教員の論文等の発表媒体として『英文学論叢』及び Essays and Studies を毎年度刊行している。
【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

⑤ 教員組織の適切性について定期的に点検・評価を行っているか。また、その結果をもとに改善・向上に向けた取り組みを行っているか。

【現状説明】必ず記入…設定した目標の進捗状況・評価の視点を含め、400字～500字(10行以内)で現状説明を記入。 本学科では毎年度実施する自己点検・評価のほか、学生のニーズやカリキュラム検討等に合わせて教員組織の適切性について点検・評価を行い、慎重に議論を重ねている。また、その結果を基に必要に応じて学科会議で公募採用人事案を策定し、全学の人事委員会にて提案をしている。
--

【点検・評価】必ず記入…効果が上がっている事項または、改善すべき事項のうち、どちらか記入(両方記入可)。
【成果および伸長方策】…現状説明の中から効果が上がっている事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【課題および改善方策】…現状説明の中から改善すべき事項を箇条書きで記入。 特筆すべき事項無し
【将来に向けた発展方策】…実行可能な方策が計画されている場合のみ具体的に記入。
【将来に向けた発展方策(伸長方策)】…点検・評価(効果が上がっている事項)に関連させ、今後の伸長方策を記入。
【将来に向けた発展方策(改善方策)】…点検・評価(改善すべき事項)に関連させ、今後の改善方策を記入。

内部評価委員会からの評価結果(内部評価結果レポート)

一般的なコメント(総評)
課題が的確に認識されて、達成に向けた施策がおこなわれていると評価します。
改善勧告コメント(点検単位からの意見を求めるもの)

内部評価結果レポートの改善勧告コメントに対する点検単位の意見

意見
